

### 13 犯罪被害者やその家族の人権問題について

問19 あなたは犯罪被害者やその家族に関する人権上の問題について、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

図 19-1. 犯罪被害者やその家族の人権問題について—全体・性別

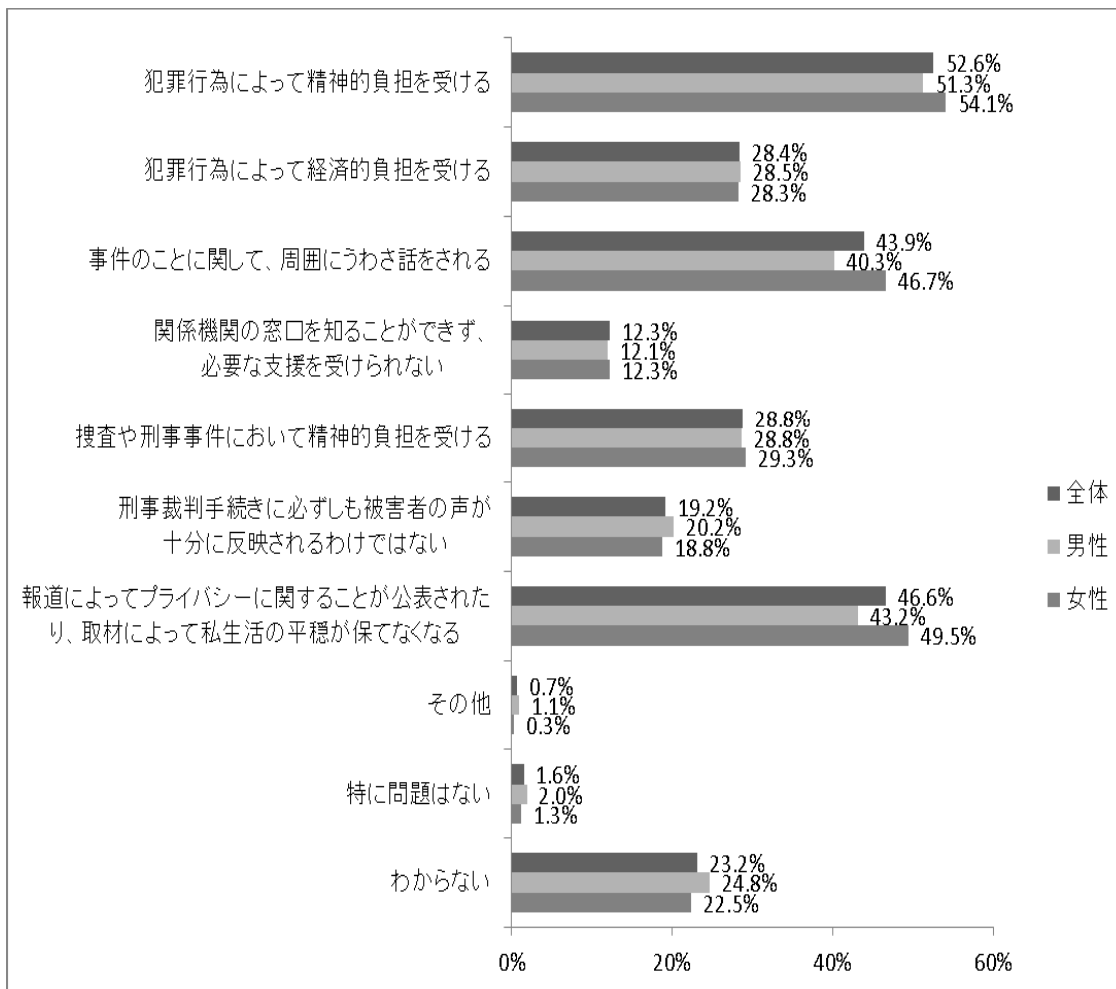


図 19-1 は、犯罪被害者やその家族に関する人権上の問題についての意識をみたものである。

「犯罪行為によって精神的負担を受ける」と回答した人が全体で 52.6%と最も高く、次いで「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」46.6%、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされる」43.9%となっている。

性別では、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」と回答した人は、男性 43.2%、女性 49.5%となっている。

また、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされる」と回答した人は、男性 40.3%、女性 46.7%となっている。

図 19-2. 犯罪被害者やその家族の人権問題について一年齢別

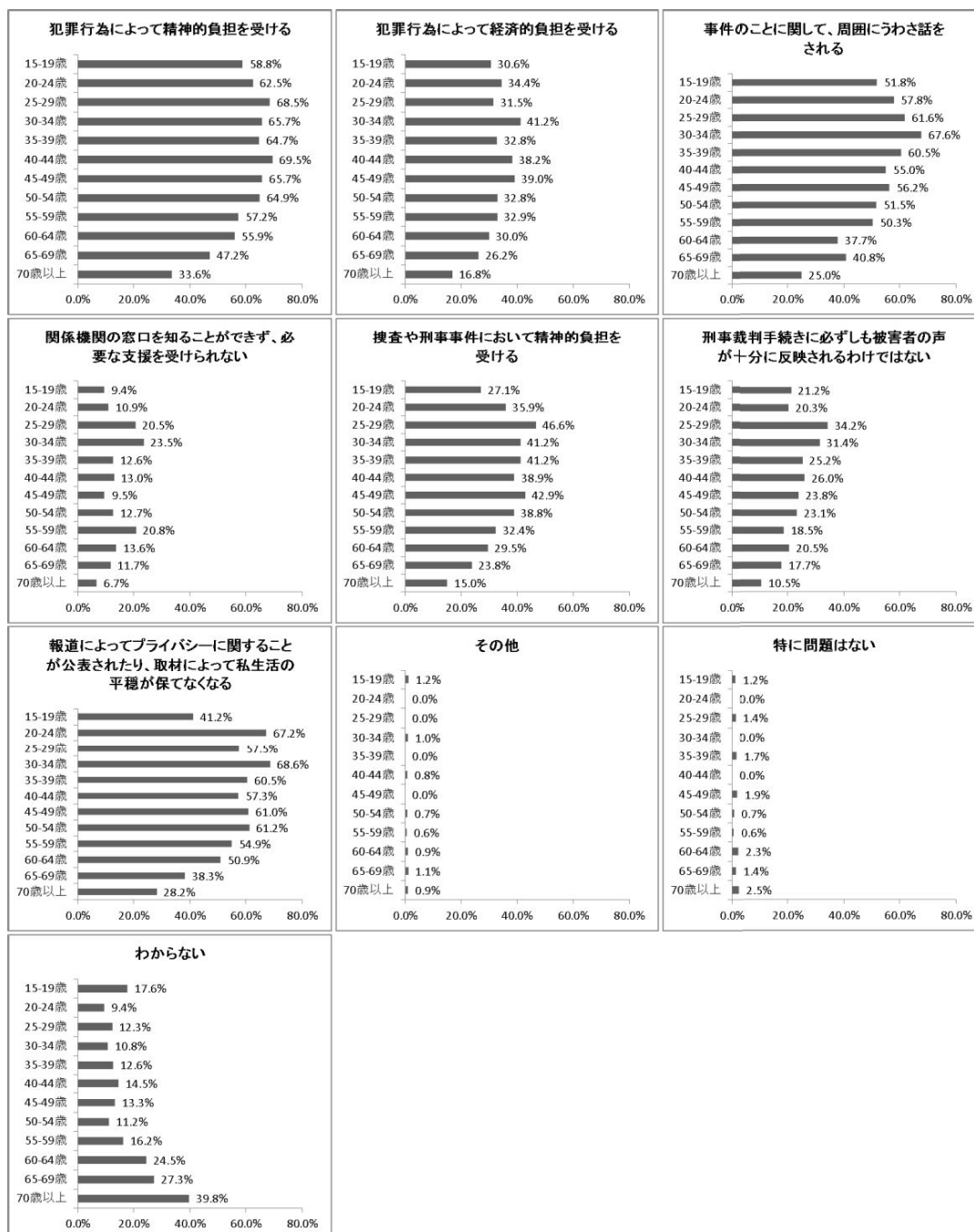


図 19-2 は、犯罪被害者やその家族に関する人権上の問題についての意識を年齢別にみたものである。

「犯罪行為によって精神的負担を受ける」と回答した人は、「15～64 歳」の年代で 50%を超えている。

また、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」と回答した人は、「20～64 歳」の年代で 50%を超えている。

「事件のことで、周囲にうわさ話をされる」と回答した人は、「15～59 歳」の年代で 50%を超えている。

#### 14 性的マイノリティの人権問題について

問20 あなたはLGBTなどの性的マイノリティに関する人権上の問題について、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

図 20-1. 性的マイノリティの人権問題について—全体・性別

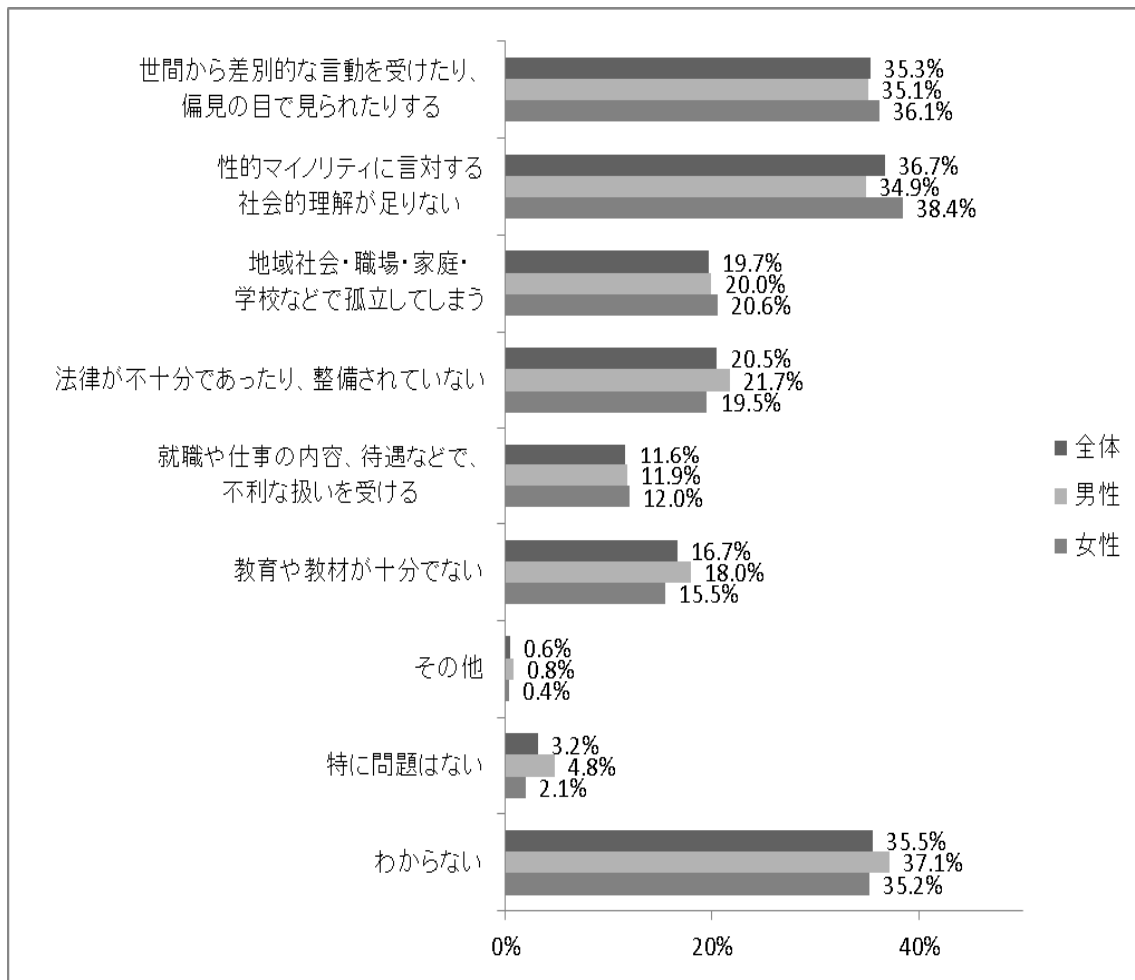


図 20-1 は、LGBTなどの性的マイノリティに関する人権上の問題についての意識をみたものである。

「性的マイノリティに対する社会的理解が足りない」と回答した人が全体で 36.7%と最も高く、次いで「わからない」35.5%、「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」35.3%となっている。

性別では、「性的マイノリティに対する社会的理解が足りない」と回答した人は、男性 34.9%、女性 38.4%となっている。

また、「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、男性 35.1%、女性 36.1%となっている。

「わからない」と回答した人は、男性 37.1%、女性 35.2%となっている。

図 20-2. 性的マイノリティの人権問題について一年齢別

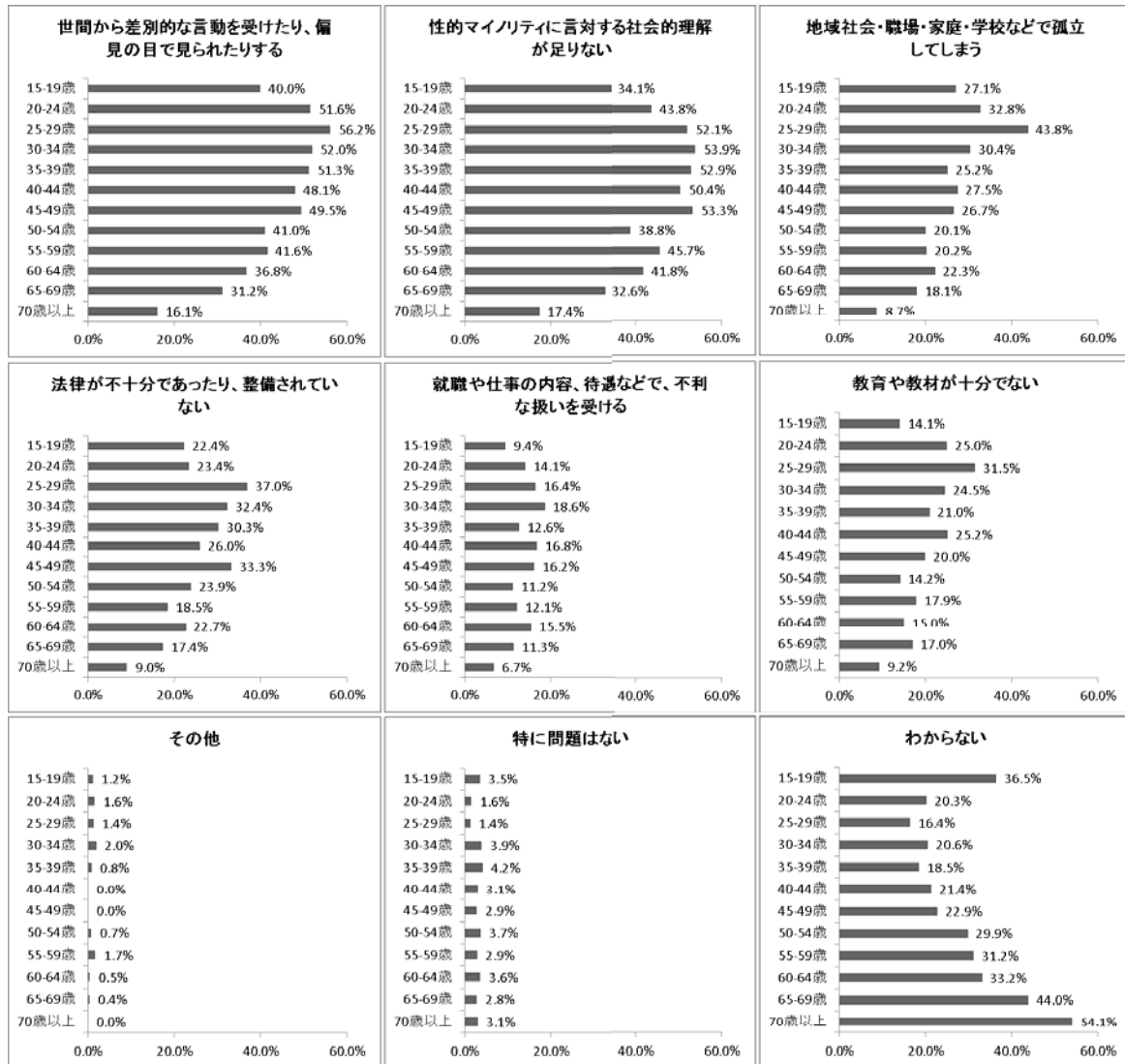


図 20-2 は、LGBTなどの性的マイノリティに関する人権上の問題についての意識を年齢別にみたものである。

「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、「20～39歳」の年代で50%を超えている。

また、「性的マイノリティに対する社会的理解が足りない」と回答した人は、「25～49歳」の年代で50%を超えている。

「わからない」と回答した人は、「70歳以上」54.1%と最も高く、次いで「65～69歳」44.0%、「15～19歳」36.5%となっている。

## 15 パワー・ハラスメントに関する人権問題について

問21 あなたは、次のうち、どのような行為や言動がパワー・ハラスメントだと思いますか。(〇はいくつでも)

図 21-1. パワー・ハラスメントについて—全体・性別

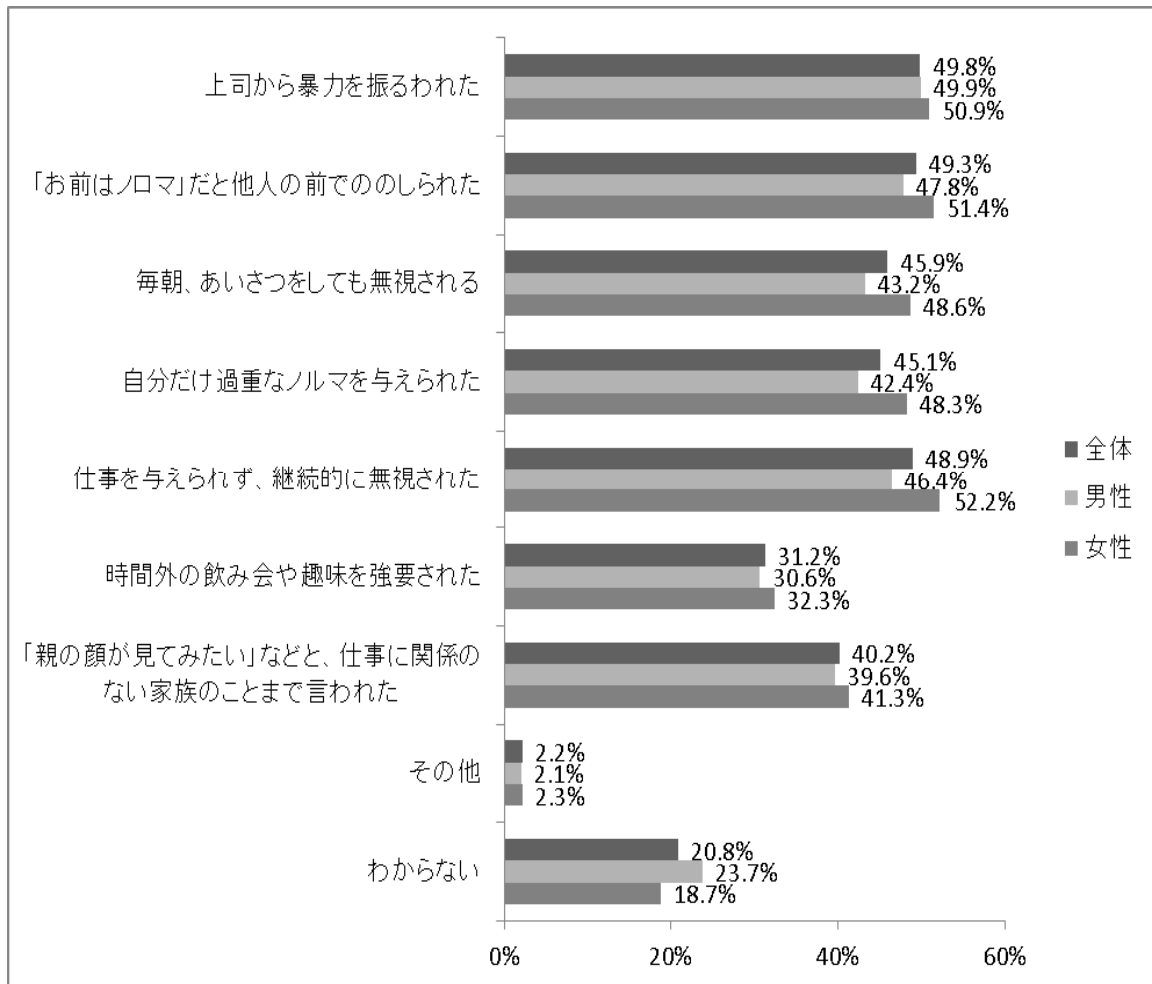


図 21-1 は、どのような行為がパワー・ハラスメントだと思うかについてみたものである。

「上司から暴力を振るわれた」と回答した人が全体で 49.8%と最も高く、次いで「「お前はノロマ」だと他人の前でののしられた」49.3%、「仕事を与えられず、継続的に無視された」48.9%となっている。

性別では、「自分だけ過重なノルマを与えられた」と回答した人は、男性 42.4%、女性 48.3%となっている。

また、「仕事を与えられず、継続的に無視された」と回答した人は、男性 46.4%、女性 52.2%となっている。

「「お前はノロマ」だと他人の前でののしられた」と回答した人は、男性 47.8%、女性 51.4%となっている。

図 21-2. パワー・ハラスメントについて一年齢別

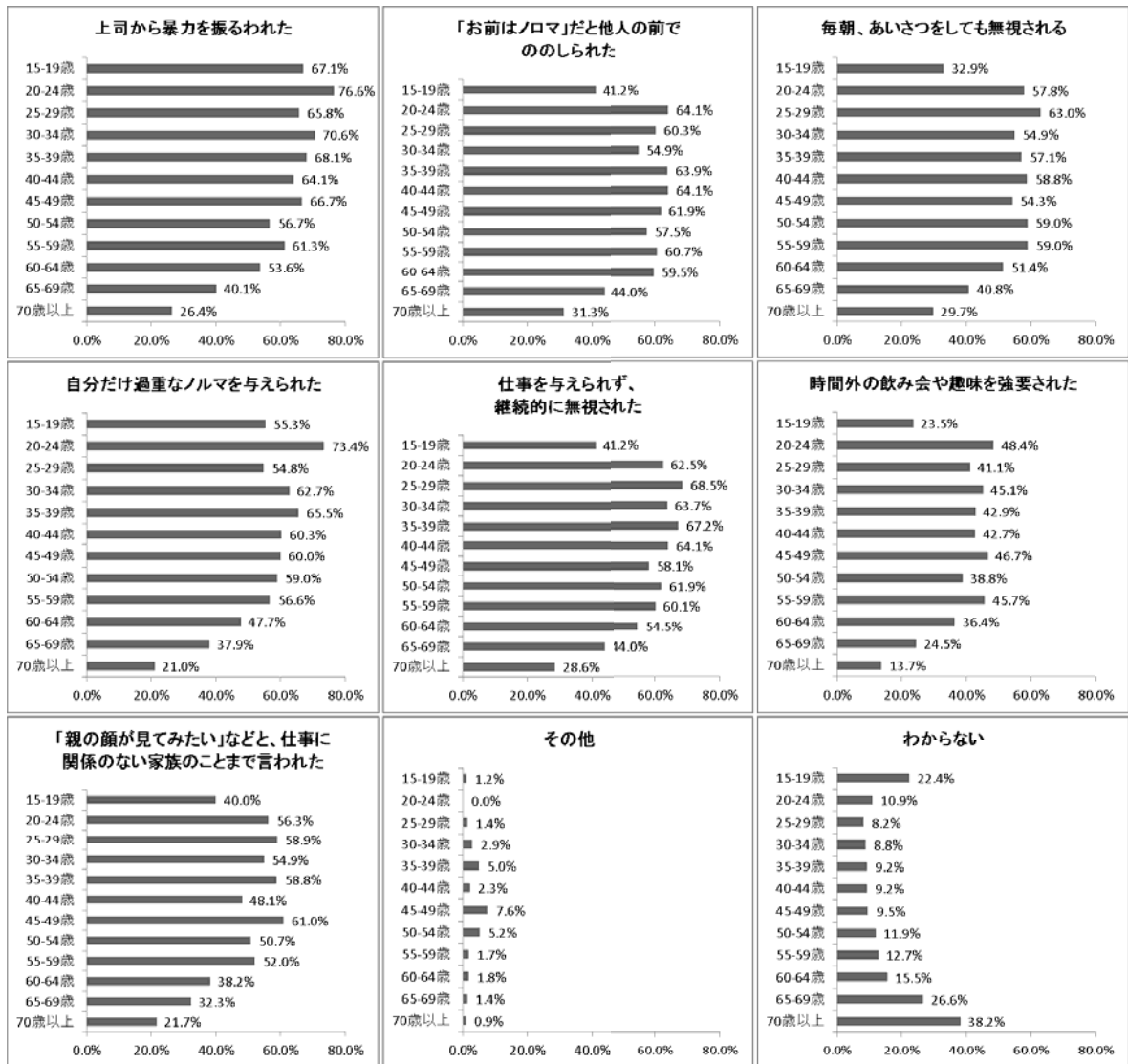


図 21-2 は、どのような行為がパワー・ハラスメントだと思うかについて年齢別にみたものである。

「上司から暴力を振るわれた」と回答した人は、「15～64 歳」の年代で 50%を超えている。

また、「自分だけ過重なノルマを与えられた」と回答した人は、「15～59 歳」の年代で 50%を超えている。

「仕事を与えられず、継続的に無視された」と回答した人は、「25～29 歳」68.5%と最も高く、次いで「35～39 歳」67.2%、「40～44 歳」64.1%となっている。

「「お前はノロマ」だと他人の前でののしられた」と回答した人は、「20～24 歳」と「40～44 歳」で 64.1%と最も高く、次いで「35～39 歳」63.9%となっている。